

実践事例 No2 テーマ『 豊かな心を育もう ～読書リレー活動の推進～（読書推進） 』

住田町；世田米地区実践区

＜世田米小学校「まなびフェスト」における読書活動についての目標＞

★ 「読書活動」・・・個人読書冊数目標達成値 80%

1 こんな課題が

- ・子ども達の個人読書冊数目標の達成者は、増えてきている。目標達成値にあと一息である。
- ・家庭における親子読書の取り組みについて、親の負担感がある。また、親としてどんな本を選び読んだらいいのか分からないでいる人がいる。

2 課題解決のための取組内容と目標は

- (1) 個人読書冊数目標の達成値80%
- (2) 読書リレーにおいて、読書をする親の人数がふえること。
- (3) 家庭での親子読書に取り組む人数がふえること。

3 どんな役割と連携で

保護者

- ・読書リレーについて各家庭への周知。(PTAだより)
- ・PTA研修部で読書リレーの本を選定。

学 校

- ・読後の感想を学校だよりで紹介。
- ・子ども達の個人読書冊数目標の達成への指導。

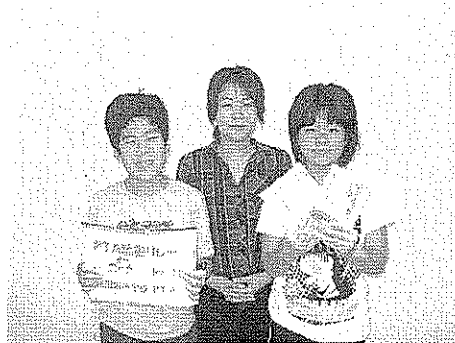
地 域

- ・読書ボランティアによる読み聞かせを町の図書室で開催。
- ・地域における読書推進の機運を高める。

4 どんな実践を

学校では、「まなびフェスト」により個人の目標冊数を設定し読書活動の推進を図る。

読書リレーの取り組みは、年2回実施。PTA研修部が選定した本2冊を地区の5～6家庭で回し読みしていく。一つの家庭におかれるのは1週間で、読書後感想を添えて、次の家庭に渡していく。



5 目標達成度の評価方法は

- (1) 学期ごとに個人読書目標冊数の達成状況を確認、反省し次の学期へつなげている。
- (2) 読書後の感想によって、読書に取り組んだ様子を把握する。

6 取り組みのPR

保護者からは、「一度読んだ本だが改めて内容を考えられた」「うなずきながら読んだ」「涙しながら読みました。お勧めの本です」といった感想が寄せられ、おおむね好評を得ている。

また、ほとんどの家庭で取り組んでいるが与えられた本なので、読み手のニーズに合った本の選定を行っていきたい。